



きょうの紙面

公共 県、千葉銀／地域PF 4件の市場調査を実施 2

公共 県／成田空港周辺道の路整備計画見直し検討 2

公共 船橋市／3者立ち会い入札不調対策手法検討 2

公共 千葉市／美浜区保育所三星学園が来年度建設 2

民間 松戸市開発許可／大和地所で共同住宅64戸 2

入札 特養船橋みずき新築工 コスモ総合建設16億円 4



川路事務所長(前列中央)を囲む優良下請け企業および優秀下請け技術者、新技術活用・生産性等向上工事表彰受賞者

常総国道事務所 25年度優良工事等事務所長表彰

古谷が生産性向上実現 制約乗り越え受賞の栄

川路事務所長から表彰状を受け取る古谷建設の細川秀夫・常務取締役(左)

常総国道事務所は7月23日、2025年度優良工事等事務所長表彰式を事務所3階会議室で開催した。千葉県内企業では「R6圏央道下総大栄地区改良の1工事」を施工した古谷建設が、新技術活用・生産性等向上工事表彰を受賞。同工事は、土砂の運搬において供用中の道路からの出入りが必要で、また狭い施工エリアでの作業となるなど、制約があったが、ICT土工を活用するなどして効率的に盛土工を行い、工期内に無事故で完成に至ったことが評価された。



後進の手本として活躍を 川路隆之事務所長あいさつ

受賞者代表謝辞で、優良工事表彰を受賞した戸田建設首都圏土木支店の吉原久副店長は「安全管理、品質管理はもとより、周囲の住民の皆さまの理解を得ながら工事を進めた。工事に当たった作業員たちも喜びを分かち合いたい」と述べ、「今後も社会基盤の整備のために力を尽くしたい」と見据えた。

表彰件数・人数は、優良工事8件・優秀工事技術者7人、優良下請け企業7件・優秀下請け技術者7人、



市場調査においては、官 視野に、地域ニーズに合った民連携による整備・運営を た施設機能や持続可能な運営を模索。

松戸市 新余熱利用施設を整備 29 30年度に事業者

松戸市は、新焼却施設の熱エネルギーを活用する「新余熱利用施設」について、民設民営を視野に事業化の検討を進めている。県と千葉銀行が10月に開催する「2026年度PPP/PEF地域プラットフォーム」におけるサウンディング型市場調査を経て、28年度までに基本計画を策定。29、30年度に事業者選定を行い、31年度の着工、34年度の運営開始を目指す。計画地は、新焼却施設建設地(旧クリンセンター用地)の北側に隣接する、高柳18332ほかの市有地4726・42㎡。

営手法、事業の実現可能性などについて民間事業者の意見を求める。具体的には、設計・施工・運営を一体的に実施する場合と、個別に実施する場合とを検討しており、それぞれについて意見を募る。また、温浴施設に限らない施設機能の提案を求め、市場性や収益性の確保、民間事業者が参入しやすい事業期間、財政支援、リスク分担などを模索。

新余熱利用施設は、新焼却施設での焼却に伴う熱エネルギーを蒸気、温水、電気などとして有効活用(抽気タービン蒸気利用)し、多世代交流や健康増進の場となる施設を目指す。温浴や学校の水泳授業にも対応する温水プール、フットパス、スタジオ、飲食店などを想定。交流機能

新焼却施設建設地(旧クリンセンター用地)の北側に隣接

新焼却施設(松戸市高柳新田37番地 他) 新余熱利用施設

県は18日、開会中の9月定例会に補正予算案を追加上程する。令和8年8月千葉豪雨に伴う被害を踏まえたもので、一般会計補正予算の規模は73億9600万円。補正後の予算総額は2兆3011億3100万円となる。主な歳出は、豪雨災害に係る道路・堤防など応急対策など28億円、公

県補正 豪雨受け74億円追加 災害復旧や都市型水害対策

共土木施設災害復旧事業28億6000万円、都市型水害に関する対策検討事業2億円。今後は、農林水産施設や社会福祉施設などの復旧支援に加え、建物の浸水被害防止など都市型水害対策について、さらなる補正予算の計上を検討する。

優良業務1件・優秀業務技術者1人、新技術活用・生産性等向上工事1件、若手・女性技術者奨励賞3人、新技術活用・生産性等向上工事表彰については、当該工事の成績が優良または功績が顕著で、新技術や3次元データなどを活用し、生産性、品質、安全性など向上に取り組んだ工事を選定している。

供給電力4400kW/日。計画地は第1種住居地域に該当し、建蔽率60%、容積率200%、幅員6mの市道に接している。現地にはクリンセンター内スポーツ施設と六実高柳老人福祉センターがあり、いずれも廃止済みで、新焼却施設建設工事に伴い27、29年度に別途解体する予定。

勝浦市補正 インフラ整備350万円 市道復旧や法面調査など

勝浦市は、17日開会の9月定例会に一般会計補正予算案第4号を上程する。道路等インフラ整備関係経費3490万7000円を

特別会計流域下水道事業では、下水道管路等調査事業8500万円を計上するとともに、八千代ポンプ場汚水ポンプ復旧事業に限度額3億8000万円の債務負担行為を定めている。浸水被害を受けた八千代ポンプ場の汚水ポンプ復旧を行うとともに、下水道管路やマンホール周辺への影響を把握するため空洞調査などを実施する。

持するための対策について検討を進めていく。また、アンダーパスにおける車両進入防止対策事業3億6000万円を盛り込んでいる。県管理道路のアンダーパス24か所について、冠水時における車両進入を物理的に防止する設備の設置を進める。被災小規模事業者再建支援事業1億6500万円を確保。事業活動の再開に必要な施設修繕費、機械装置費、設備廃棄費などに対し、1000万円を上限、10万円を下限として、対象経費の3分の2を助成する。

地域社会の「チカラ」であれ。

古谷建設株式会社

代表取締役 古谷 秀一

〒289-1733 山武郡横芝光町栗山 3195-1
TEL: 0479-82-3311 FAX: 0479-82-3314
URL <https://www.furuya-con.co.jp>

OK式雨水浸透施設

浸透計算に関する質問等お気軽にお問合せ下さい。

浸透機OKZ	浸透角機OKZK	浸透OKZ (PVA)	浸透井戸
600~2000	500	300~450	φ900~φ2000

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会認定製品 雨水製評一第8号

OKザールフィルター

フィルターの向上により、落葉やプラスチックごみに対する耐目詰まり性が格段にUPしました。

雨水浸透貯留槽プラスチック部材 -ハイドロスタッフ-

堆砂抑制システム

ユニット

株式会社オーイケ

本 社 0263-98-2238
岐阜営業所 0574-60-1586
群馬営業所 027-380-1780
東京営業所 03-5657-1281

WEBサイト [オーイケ](http://www.oike.co.jp) 検索
E-mail info@oike.net